

## 平成24年行政事業レビュー・シート (厚生労働省)

事業名	看護職員確保モデル事業		担当部局	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～23年度		担当課室	看護課		課長：岩澤和子		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-2 医療需要に見合った医療従事者を確保する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	潜在看護職員の再就業及び助産師の産科診療所への就業の促進を図るために、都道府県が企画立案・評価し、潜在看護師等を対象に臨床実務研修を行うことにより、看護職員の確保が困難な地域・医療機関・産科診療所の看護職員の確保を図るとともに、当該地域等の看護師等の資質の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①看護職員確保モデル事業 ②潜在助産師等を対象に産科の専門的病院で最新の助産に関する知識や技術等に係る臨床実務研修等を行う。 ③助産師の確保体制を整備するため、様々な角度から検討を行うとともに、講習会の実施やポスター、パンフレット等による普及啓発を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	当初予算	57	3	3				
	補正予算							
	繰越し等							
	計	57	3	3				
	執行額	53						
執行率(%)	93.0%	0.0%	0.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	助産師を確保し、安全・安心・快適なお産の場の確保が成果目標であり、これは定量的な実績として示せるものではない。		成果実績		-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	①看護職員確保モデル事業 ②産科診療所における助産師確保モデル事業 (①・②の事業は平成21年度限りで廃止した。)		活動実績 (当初見込み)		12	0	0	—
					( - )	( - )	( - )	
単位当たりコスト	4,175,583円(円/カ所数)		算出根拠	平成21年度実績 ①・②事業の執行額/①・②事業の実施カ所数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	-	-	-					
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	<input type="radio"/> 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>助産師確保は国民の安全・安心の医療の確保のためニーズがある。</li> <li>看護師等確保のための施策の実施に当たっては「看護師等の材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うこととなっている。</li> <li>不用率が高いことから廃止した。</li> </ul>
	<input type="radio"/> 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	<input type="radio"/> 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ・使途・費目・	- 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>競争入札等により必要最小限のコストとなるようにした。</li> <li>助産師確保のための研修実施や、ポスター等に使途が限定されている。</li> </ul>
	<input type="radio"/> 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	- 受益者との負担関係は妥当であるか。		
	- 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	<input type="radio"/> 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績・成果実績	- 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		
	- 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	- 活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	- 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	※類似事業名とその所管部局・府省名		
点検結果	- 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
	執行状況を踏まえ廃止した。		
予算監視・効率化チームの所見			
			—
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			—
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0067

※平成23年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					